

FAIRPLAY NEWS

フェアプレイで
日本を元気に
あくしゅ、あいさつ、ありがとう



試合の後のチームプレイ

2000年 シドニーオリンピック ソフトボール決勝 日本vsアメリカ

しかし5回 アメリカに追いつかれる

JPN 0001000
USA 0000100

4回 日本が宇津木選手のホームランで先制

雨の降り出す中 熱戦は1対1のまま延長戦へ

8回裏 アメリカの攻撃 1アウトランナー一・二塁

レフト バック!!

あ...!

これが決勝点となり アメリカは優勝

試合後、落球した選手に 厳しい質問がなされた

日本の惜しくも 銀メダルとなった

今の気持ちは?

滑ったのは 雨のせい?

その時、主将の宇津木選手が 間に入った

私たちはチームとして戦いました

チームというもの 誰か一人の力で負けるとか 勝ったりするものではないのです

この姿勢が、改めて「チーム」として 戦うスポーツの素晴らしさを認識 させたとして、シドニーオリンピック・ソフトボール日本代表チームは 「国際フェアプレー賞」に選ばれた

オリンピックへの道

セーリング (ヨット)

知識と技術を駆使して、 風を味方につける。

ヨットには大人のスポーツというイメージがあるかもしれませんが、小学生でも操れるヨットもあり、子供の競技人口も徐々に増えています。高山選手も競技を始めたのは小学3年生の時。夏だけではなく冬の寒い日も練習に励み、その結果、国内大会で優勝し、世界大会にも出場するようになりました。どんな風が吹いてくるのか、素早く察知。持っている知識と技術を駆使してヨットを操る。海を疾走する気持ちよさは、何ものにも代えがたいそうです。現在高校2年生の高山選手の目標は、目の前にある大会で活躍すること。その先で、オリンピックにチャレンジできるような選手に成長したいと語ってくれました。

ヨットを傾けて素早く方向を変える

セッティングも自分ですべて行う

仲間といっしょに海を疾走

あそびスポーツ 研究所

手の輪くぐり

- ①二人で向きあい 両手をつなぐ。
- ②手を離さないようにして、 つないでいる手を 順にまたぐ。
- ③手をつないだまま 背中あわせになる。
- ④手を離さないようにして 再び元の状態に戻る。

うまくできるかな!

日本体育協会「アクティブ・チャイルド・プログラム」より

フェアプレイ語録

堂々(ドウドウ)ちゃん 正々(せいせい)くん

「今よりもうまくなりたいたい、 というチャレンジジだった。それが長く続けられたことの原動力だった。」

杉山 愛(元プロテニスプレイヤー)

世界女子テニスツアー(WTA ツアー)に17年もの間出場し 続け、34歳で引退した杉山選手。少しでもうまくなりたいたいという気持ちを持ち続けることが、彼女の支えとなった。